



日本実験動物医学会 2020-2021 年度総会

2020年10月5日(月)～11日(日)

総会次第

議 事

- | | |
|----------------------|---------------------|
| [1] 理事・監事の任命 | [5] 2020-2021 年度予算案 |
| [2] 2019-2020 年度事業報告 | [6] 来年の学会エクスカージョン |
| [3] 2019-2020 年度決算報告 | [7] その他 |
| [4] 2020-2021 年度事業計画 | |

報告事項

2017-2018～2019-2020 年度役員（理事・監事）

会長	安居院高志（北海道大学） （渉外担当理事兼任）	理事	下田 耕治（慶應義塾大学）
副会長	池 郁生（理化学研究所）	理事	鈴木 穂高（茨城大学）
理事	角田 茂（東京大学） （会計・事務局担当）	理事	古市 達哉（岩手大学）
理事	久和 茂（東京大学）	理事	森松 正美（北海道大学） （庶務担当）
理事	佐々木宣哉（北里大学）	監事	黒澤 努（鹿児島大学）
		監事	橋本 道子（アステラス製薬）

2020-2021～2022-2023 年度役員（理事・監事）

会長	佐々木宣哉（北里大学） （渉外担当理事兼任）	理事	鈴木 穂高（茨城大学）
副会長	池 郁生（理化学研究所）	理事	古市 達哉（岩手大学） （庶務担当）
理事	大沢 一貴（長崎大学）	理事	森松 正美（北海道大学）
理事	岡村 匡史（国際医療センター） （庶務担当）	理事	横須賀 誠（日本獣医生命科学大学）
理事	角田 茂（東京大学） （会計・事務局担当）	監事	安居院高志（北海道大学）
		監事	橋本 道子（アステラス製薬）

各種委員会委員長

学術集会委員会	岡村 匡史（国際医療センター）
研修委員会	森松 正美（北海道大学）

実験動物学教育委員会	横須賀 誠	(日本獣医生命科学大学)
情報・編集委員会	鈴木 穂高	茨城大学
前島賞選考委員会	古市 達哉	(岩手大学)
実験動物法規等検討委員会	大沢 一貴	(長崎大学)

【 前島賞 】

前島賞選考委員会において厳選な選考の結果、下記の候補者が決定され、理事会で承認された。
尚、表彰式は来年度の総会で執り行う。

受賞者：高橋 悠記 会員 (北里大学獣医学部実験動物学研究室)

演題：腎近位尿管上皮細胞における新規腎症増悪因子の解析

【 議 事 】

[1] 理事・監事の任命

理事・監事 (2020-2021～2022-2023 年度) をご覧ください。

[2] 2019-2020 年度事業報告

1. 2019-2020 年度総会の開催

時期：2019 年 9 月 12 日

場所：つくば国際会議場 第 162 回日本獣医学会学術集会

議事：2018-2019 年度事業報告/2018-2019 年度決算報告/2019-2020 年度事業計画案/2019-2020 年度予算案/ 獣医学会所属団体経費配分に関する予算使用の修正について/ 来年の学会とエクスカッションについて/ 報告事項

2. 理事会の開催

(1) 第 1 回理事会

時期：2019 年 9 月 10 日

場所：つくば国際会議場 第 162 回日本獣医学会学術集会

出席者：安居院、池、角田、久和、佐々木、下田、鈴木、古市、森松 (以上理事)、黒澤、橋本 (以上監事)

(2) 第 2 回理事会

時期：2020 年 4 月 24 日～6 月 15 日

場所：理事会メーリングリスト (ML) を用いた会議

出席者：安居院、池、角田、久和、佐々木、下田、鈴木、古市、森松 (以上理事)、黒澤、橋本 (以上監事)

3. 学術集会委員会

委員長：佐々木宣哉 (北里大)

委員：岡村匡史 (副委員長、国際医療センター)、北村 浩 (酪農大)、花木賢一 (感染研)、佐々木隼人 (北里大)、越後谷裕介 (日大)、小久保年章 (放医研)、綾部信哉 (理研)

(1) 随時、ML を使用し、今後の実験動物医学シンポジウムについて検討した。

(2) 第 162 回日本獣医学会学術集会開催期間中、2019 年 9 月 12 日に委員長が日本獣医学会プログラム委員会に出席した。

(3) 前回委員会から今回委員会までの間に ML で第 67 回日本実験動物学会総会ならびに第 162 回日本獣医学会学術集会における JALAM シンポジウム内容等について検討し、準備を進めた。実験動物学会は新型コロナウイルス感染拡大のために誌上開催となったため、これに関する抄録掲載等は取り止めることとした。

(4) 下記の通り、教育講演・シンポジウムを企画・開催した。

第162回日本獣医学会学術集会

JALAM シンポジウム「先端生体イメージング技術が切り拓く動物実験の新たな可能性」

時期：2019年9月12日

場所：つくば国際会議場

4. 情報・編集委員会

委員長：鈴木穂高（茨城大）

委員：伊藤麻里子（副委員長、名大）、綾部信哉（理研）、大沼健太（日本たばこ産業）、和穎 岳（ヤクルト中央研）、明貝俊彦（岡山理大）、近藤友宏（大阪府大）

(1) JALAM NEWS LETTER「実験動物医学」No. 53（2019. 8）およびNo. 54（2020. 4）を編集し、本学会ホームページ（HP）に掲載した。

(2) 本学会一般公開HPをjalam.jpドメインで管理運営し、随時、内容を更新した。

(3) JALAM-ML(jalam@umin.ac.jp)および会員HP（http://jalam.jp/htdocs/）を管理運営した。

(4) 第162回日本獣医学会学術集会開催期間中、2019年9月10日にJALAM情報・編集委員会を開催した。

5. 研修委員会

委員長：久和 茂（東大）

委員：中村紳一郎（副委員長、麻布大）、岡村匡史（国際医療研究センター）、倉岡睦季（日獣大）、小久保年章（放医研）、今野兼次郎（ボゾリサーチセンター）、高木久宜（日本エスエルシー）、林元展人（実中研）、藤澤彩乃（東大）

第162回日本獣医学会に合わせ、2019年9月8、9日にウェットハンド研修会「I. げっ歯類およびウサギの獣医学的管理」を実験動物中央研究所（川崎市）で共催した。受講者は25名。また、第1回委員会を9月10日につくば国際会議場で開催した。

6. 実験動物学教育委員会

委員長：古市達哉（岩手大）

委員：横須賀 誠（副委員長、日獣大）、安居院高志（北大）、浅野 淳（鹿児島大）、伊豆弥生（岡山理科大）、越後谷裕介（日大）、大杉剛生（酪農大）、岡田利也（大阪府大）、角田 茂（東大）、木村 透（山口大）、久和 茂（東大）、佐々木宣哉（北里大）、佐々木隼人（北里大）、佐藤雪太（日大）、竹内崇師（鳥取大）、田中あかね（東京農工大）、塚本篤士（麻布大）、富岡幸子（鳥取大）、中村紳一郎（麻布大）、森松正美（北大）

(1) 第162回日本獣医学会学術集会開催期間中、2019年9月10日に委員会を開催した。

(2) 獣医学教育モデル・コア・カリキュラム有識者会議から、実験動物学のコア・カリキュラムに関する問い合わせがあり、教育委員会として対応した。各委員の協力の下、実験動物学のコア・カリキュラムの改訂案作成や英訳を行った。

7. 実験動物法規等検討委員会

委員長：下田耕治（慶應大）

委員：大沢一貴（副委員長、長崎大）、笠井憲雪（東北大）、武井信貴子（イナリサーチ）、横山政幸（武田薬品工業）

(1) 第162回日本獣医学会学術集会において第1回委員会を開催した。

(2) 「動物の愛護及び管理に関する法律」の改正等について、意見交換した。

8. 前島賞・功労賞選考委員会

委員長：池 郁生（理研）

委員：三好一郎（副委員長、東北大）、小野悦郎（九大）、加藤啓子（京都産業大）、杉山文博（筑波大）、鈴木樹理（京大）、中村紳一郎（麻布大）、山中仁木（信州大）

第162回日本獣医学会学術集会における2019-2020年度前島賞候補者の選考が2019年9月11日に行われ、下記の守屋大樹会員が候補者として報告された。翌日の総会で同会員が表彰された。

候補者：守屋大樹 会員（大阪大谷大学）

研究課題：腫瘍細胞死誘導時の抗腫瘍免疫増強に DAMPs 分子を介した腫瘍浸潤樹状細胞の所属リンパ節への移行促進が関与する

[3] 2019-2020年度決算報告（別紙参照）

一般会計決算報告について
会費納入状況について

[4] 2020-2021年度事業計画（別紙参照）

1. 総会

2020-2021 年度総会を 2020 年 10 月に会員メーリングリストにより行う。

2. 学術集会委員会

- (1) 下記の教育講演・シンポジウムを企画・開催する。
 - A) 第 68 回日本実験動物学会における JALAM シンポジウムを企画する。
 - B) 第 164 回日本獣医学会における JALAM シンポジウムを企画する。

3. 情報・編集委員会

- (1) JALAM NEWS LETTER 「実験動物医学」 No.55 (2020.8) および No.56 (2021.4) を編集し、本学会ホームページ (HP) に掲載する予定。
- (2) 本学会 HP を改訂し、その内容を随時更新する。
- (3) 会員 HP (<http://jalam.jp/htdocs/>) を管理運営する。

4. 研修委員会

2021 年 5 月の第 68 回実験動物学会に合わせウェットハンド研修会を共催予定である。

5. 実験動物学教育委員会

- (1) 実験動物学教育委員会のメーリングリストを通して、意見・情報の交換を行う。

6. 実験動物法規等検討委員会

- (1) 動物愛護管理法の改正に関する情報を収集する。
- (2) 動物愛護管理法関連法規等について、理事会から諮問された案件について検討し、その結果を理事会へ報告する。

7. 前島賞・功労賞選考委員会

第 163 回日本獣医学会学術集会開催期間中に委員会開催予定。

[5] 2020-2021 年度予算案 (別紙参照)

1. 一般予算について

[6] 来年の学会エクスカージョン

第 164 回日本獣医学会学術集会 (酪農学園大学) に合わせてエクスカージョンを実施し、森松正美理事 (北大) が幹事を担当する。

[7] その他

【 報告事項 】

1. 2019-2020 年度会員数

日本実験動物医学会 会員数 合計 411 名 (2020 年 7 月 31 日現在)

2. 2019-2020 年度入退者数 (2019.8.1-2020.7.31 の異動分)

入会 32 名

退会 16 名 (会費滞納による退会 7 名)